平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年11月9日

上場会社名　カネソウ株式会社　　上場取引所　　名
コード番号　5979　　URL http://www.kaneso.co.jp
代表者　　(役職名) 代表取締役社長　　(氏名) 近藤　健治
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長　　(氏名) 南川　智之　　TEL 059-377-4747

四半期報告書提出予定日　　平成27年11月13日　　配当支払開始予定日　　平成27年12月10日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績(累計)　　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	3,337	△8.7	55	△67.6	26	△84.3	10	△88.8
27年3月期第2四半期	3,655	7.4	170	37.4	169	70.9	96	58.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	0.76	―
27年3月期第2四半期	6.78	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	15,609	13,784	88.3
27年3月期	15,890	13,882	87.4

(参考)自己資本　　28年3月期第2四半期　13,784百万円　　27年3月期　13,882百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	―	7.50	―	7.50	15.00
28年3月期	―	7.50			
28年3月期(予想)			―	7.50	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成28年 3月期の業績予想(平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,650	△2.8	510	△9.8	450	△18.2	220	△14.5	15.45

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※　注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無
② ①以外の会計方針の変更　：　無
③ 会計上の見積りの変更　：　無
④ 修正再表示　：　無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	14,400,000 株	27年3月期	14,400,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	161,561 株	27年3月期	161,561 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	14,238,439 株	27年3月期2Q	14,238,439 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信〔添付資料〕2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
（３）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期累計期間における国内経済は、これまで企業収益や雇用環境の改善傾向が続き、景気は緩やかな回復基調が見られました。一方で、中国をはじめとする海外経済の減速や不安定な情勢が顕在化しております。また、円安を背景に原材料価格等の高値が続くなど、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

こうした状況の下で、当社が関連する建設関連業界におきましては、公共投資が減少傾向に転じており、民間設備投資の改善も緩やかなものとなりました。また、円安からのコストの上昇や労働者不足が続くなど、需要環境の足かせとなり、引き続き採算面など市場環境は、厳しい状況が続いております。その結果、売上高は33億37百万円(前年同四半期比8.7%減)となりました。製品分類別の状況は次のとおりであります。鋳鉄器材は、建築関連が低調な状況が続き、雨水排水・防水関連製品などが低下し、外構・街路関連製品が堅調な状況が続いているものの、11億29百万円(同1.0%減)となりました。スチール機材は、設備工事や外構工事の改善もあり、外構・街路関連製品など全般に堅調なことから、6億30百万円(同8.3%増)となりました。製作金物は、建築金物、及び外構・街路関連製品が低調な状況が続き、防災関連製品におきましても、大型案件の納入が減少していることから、13億63百万円(同18.2%減)となりました。その他は、公共投資の減少から土木向け製品が減少し、建機、機械向け需要の回復が見られず、依然として厳しい状況が続いていることから、2億13百万円(同19.8%減)となりました。

利益につきましては、高値の続く材料価格に、やや低下への動きが出てきましたが、生産の減少にもより、コスト環境は厳しく、売上総利益は10億34百万円(同9.7%減)となりました。また、販売費及び一般管理費は売上減少の中、固定費負担が増加しており、改善が進まず、営業利益は55百万円(同67.6%減)となりました。営業外収支につきましては、金利が低位な状況が続いており、改善には至らないものとなりました。その結果、経常利益は26百万円(同84.3%減)となり、四半期純利益は10百万円(同88.8%減)となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第２四半期会計期間末の財政状態は、総資産は前事業年度末に比べ2億80百万円減少し156億9百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ2億18百万円減少し121億66百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金が50百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が3億11百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ62百万円減少し34億43百万円となりました。その主な要因は、有形固定資産が償却の進捗等により58百万円減少したこと等によるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ1億82百万円減少し18億24百万円となりました。その主な要因は、未払法人税等が1億25百万円、流動負債のその他が未払金及び未払消費税等の減少等により55百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ97百万円減少し137億84百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金が、四半期純利益の計上が10百万円ありましたが、前事業年度の配当金の支払が1億6百万円あったことにより96百万円減少したこと等によるものであります。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、このところの海外情勢の悪化が広がる中で、政府による持続的な成長への経済政策が続くものの、景気の下振れリスクが高まってくることも予想されます。設備投資や生産活動が弱含む懸念も出てきております。その中で、建築関連も消費税増税後の落ち込みから緩やかながら持ち直しが見られることと、引き続き都市部を中心とした投資や整備事業は堅調に推移していくことが期待されます。継続的なコスト低減により競争力を持ち、販売の開拓と高品質の製品、サービスの提供できる技術開発に取り組み、業績の改善に努めてまいります。

これらの状況を踏まえ、通期業績予想につきましては、本日公表いたしました「平成28年３月期第２四半期(累計)個別業績予想との差異及び通期個別業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり修正しております。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成27年３月31日）	当第２四半期会計期間 （平成27年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,707,884	9,758,075
受取手形及び売掛金	1,575,700	1,302,757
製品	493,831	499,824
仕掛品	93,887	118,470
原材料及び貯蔵品	449,899	433,681
その他	63,936	53,931
貸倒引当金	△474	△391
流動資産合計	12,384,665	12,166,349
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,733,768	1,732,878
その他（純額）	1,317,386	1,259,822
有形固定資産合計	3,051,154	2,992,700
無形固定資産	2,475	2,081
投資その他の資産		
投資有価証券	80,974	78,376
その他	383,048	382,107
貸倒引当金	△12,000	△12,000
投資その他の資産合計	452,023	448,484
固定資産合計	3,505,652	3,443,266
資産合計	15,890,318	15,609,615
負債の部		
流動負債		
買掛金	290,980	273,309
未払法人税等	144,022	18,857
賞与引当金	56,496	64,980
その他	246,524	190,737
流動負債合計	738,024	547,884
固定負債		
退職給付引当金	255,742	261,767
役員退職慰労引当金	407,645	411,755
その他	606,241	603,451
固定負債合計	1,269,629	1,276,974
負債合計	2,007,653	1,824,859

（単位：千円）

	前事業年度 （平成27年３月31日）	当第２四半期会計期間 （平成27年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,820,000	1,820,000
資本剰余金	1,320,000	1,320,000
利益剰余金	10,786,600	10,690,589
自己株式	△69,241	△69,241
株主資本合計	13,857,358	13,761,348
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	25,306	23,408
評価・換算差額等合計	25,306	23,408
純資産合計	13,882,665	13,784,756
負債純資産合計	15,890,318	15,609,615

（２）四半期損益計算書

第２四半期累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成26年４月１日 至　平成26年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成27年４月１日 至　平成27年９月30日）
売上高	3,655,381	3,337,299
売上原価	2,509,999	2,302,684
売上総利益	1,145,381	1,034,615
販売費及び一般管理費	974,882	979,366
営業利益	170,498	55,249
営業外収益		
受取利息	5,735	4,605
受取配当金	1,232	1,337
不動産賃貸料	9,402	9,479
為替差益	24,599	―
その他	5,348	2,242
営業外収益合計	46,317	17,665
営業外費用		
支払利息	8,931	8,958
売上割引	36,090	34,761
その他	2,751	2,684
営業外費用合計	47,773	46,404
経常利益	169,042	26,510
特別損失		
減損損失	―	889
特別損失合計	―	889
税引前四半期純利益	169,042	25,620
法人税、住民税及び事業税	74,215	12,534
法人税等調整額	△1,673	2,307
法人税等合計	72,541	14,842
四半期純利益	96,500	10,777

（３）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

平成 27 年 11 月 9 日

平成 28 年３月期　第２四半期決算発表　参考資料

カネソウ株式会社

１．業　　績（累計）

科　　目	金　　額	前 年 同 四 半 期 比
売　　上　　高	33 億 37 百万円	8.7 % 減
営　　業　　利　　益	55 百万円	67.6 % 減
経　　常　　利　　益	26 百万円	84.3 % 減
四 半 期 純 利 益	10 百万円	88.8 % 減
1 株当たり四半期純利益	76 銭	（前年同四半期 6 円 78 銭）

製品分類別売上高の状況

製　　品　　分　　類	売上高（百万円）	構成比（%）	前年同四半期比（%）
鋳　　鉄　　器　　材	1,129	33.8	△1.0
ス チ ー ル 機 材	630	18.9	8.3
製　　作　　金　　物	1,363	40.9	△18.2
そ　　の　　他	213	6.4	△19.8
合　　計	3,337	100.0	△8.7

２．配　　当

中間配当は、1 株当たり 7 円 50 銭を実施する予定であります。（前年同四半期 7 円 50 銭）

３．財政状態

総資産 156 億 9 百万円、純資産 137 億 84 百万円、自己資本比率 88.3%、
1 株当たり純資産額 968 円 14 銭であります。（株式数　14,238 千株）

４．通期（平成 28 年 3 月期）の業績予想

区　　分	第２四半期実績(累計)		通　期　予　想	
	金額（百万円）	前年同期比（%）	金額（百万円）	前期比（%）
売　　上　　高	3,337	△8.7	7,650	△2.8
営　　業　　利　　益	55	△67.6	510	△9.8
経　　常　　利　　益	26	△84.3	450	△18.2
第2四半期（当期）純利益	10	△88.8	220	△14.5

製品分類別売上高の計画（通期）

製　　品　　分　　類	売上高（百万円）	構成比（%）	前期比（%）
鋳　　鉄　　器　　材	2,500	32.7	△0.1
ス チ ー ル 機 材	1,430	18.7	4.3
製　　作　　金　　物	3,250	42.5	△6.4
そ　　の　　他	470	6.1	△10.5
合　　計	7,650	100.0	△2.8

５．設備投資及び減価償却費（有形固定資産）

	第２四半期実績	通　期　計　画
設　備　投　資　額	42 百万円 （試験機器等）	1 億 70 百万円 （鋳造関連設備、試験機器等）
減　価　償　却　費	98 百万円	2 億 10 百万円

※　本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。